

# 地域住民福祉活動 情報交換会報告

葛飾区社会福祉協議会では、身近な地域で支えあうしくみを築き、そこに暮らす住民が主体となり様々な課題の発見・改善・解決を図る取り組みである小地域福祉活動を19の連合町会を基礎エリアとして、現在、9連合町会のご協力のもと活動を展開しています。

今回は、区内でサロン活動に取り組んでいる方々から、実践報告をしていただき意見・情報交換をしながら、サロン活動の意義や魅力を再認識し、更なる小地域福祉活動の推進と、よりよい地域づくりにつながる学習会を開催しました。

なお、自治町会や民生児童委員、サロン実施団体、高齢者総合相談センター等から82名の方々にご参加いただきました。

1. 日時 平成26年1月29日(水) 午後2時～4時30分

2. 場所 ウェルピアかつしか 1階 ボランティア活動室

## 3. 内容

- |           |   |               |
|-----------|---|---------------|
| (1) 実践報告① | 『歌声喫茶のつどい』<br>(四ツ木地区小地域福祉活動推進委員会)       | 発表者：市村 ふみえ さん |
| (2) 実践報告② | 『健康・お茶会サロン』<br>(東金町小地域福祉活動推進委員会)        | 発表者：浅野 幸継 さん  |
| (3) 実践報告③ | 『堀切ふれあいサロン』                             | 発表者：伊藤 徳子 さん  |
| (4) 実践報告④ | 『長寿サロン「オアシス」』                           | 発表者：吉川 宏 さん   |
| (5) 実践報告⑤ | 『そら豆の会』                                 | 発表者：風間 トシ子 さん |
| (6) 実践報告⑥ | 『いきいき体操教室』<br>(柴又地域福祉活動推進委員会・柴又ふれあいネット) | 発表者：鈴木 喜代子 さん |

## (7) 情報交換会

コーディネーター：菅野 道生 先生

(岩手県立大学 社会福祉学部 専任講師)

# も く じ

当日の様子・・・・・・・・・・・・・・・・	1
情報交換会での主な意見・・・・・・・・	3
地域住民福祉活動情報交換会参加者アンケート結果・・・	4
参加者からの質問及び回答・・・・・・・・	14

# 当日の様子



実践報告：市村さん



実践報告：浅野さん



実践報告：伊藤さん



実践報告：吉川さん



実践報告：風間さん



実践報告：鈴木さん

# 当日の様子



実践者による小道具の紹介①



実践者による小道具の紹介②



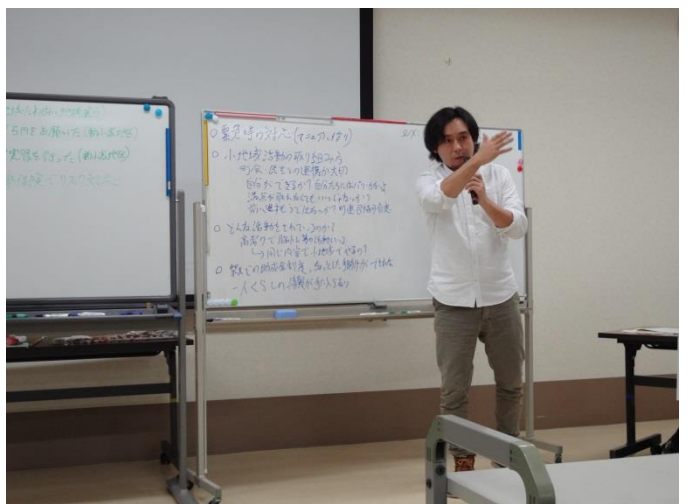
グループワーク①



グループワーク②



質疑



コーディネーター：菅野先生

# 情報交換会での主な意見

## ◎サロン活動中の緊急時の対応について

→ マニュアルがあると落ち着いて対応ができるので、マニュアル作りが大切だ。

## ◎小地域福祉活動の取り組み方について

→ 取り組みへのポイントは、町会と民生委員とが連携をして推進組織を立ち上げへ、地域の状況や課題を共有し、取り組む活動を検討していくこと。

## ◎うちの地区では、まだ、小地域福祉活動を取り組んでいないが、高齢者クラブが脳トレ等の活動をしているので、小地域でも同じ内容の活動をやるのか？

→ 高齢者クラブの活動は、クラブのメンバー（会員）でないと参加できませんが、小地域福祉活動の対象は、その地域（まち）に住んでいるすべての方が対象になります。活動内容についても、住民同士のつながりを意識できる内容のものから取り組んでいくといいと思います。例えば、最初は、単発で落語会や音楽会などのイベント型から、活動に慣れてきたら、定期的にサロン活動や会食会などの交流型の活動へと、地域の状況や課題の改善や解決に向けた活動を取り組んでいくことをおすすめします。

## ◎小地域福祉活動に関する助成金について

【葛飾区社協】 「小地域福祉活動助成金」があります。

【葛飾区】 サロン活動に対して「地域ふれあいサロン事業助成金」があります。

【東京都】 自治町会が実施する地域活動に対する「地域の底力再生事業助成」があります。

【連合町会】 小地域福祉活動を実施している地区の中では、連合町会から助成金を受けている地区もあります。

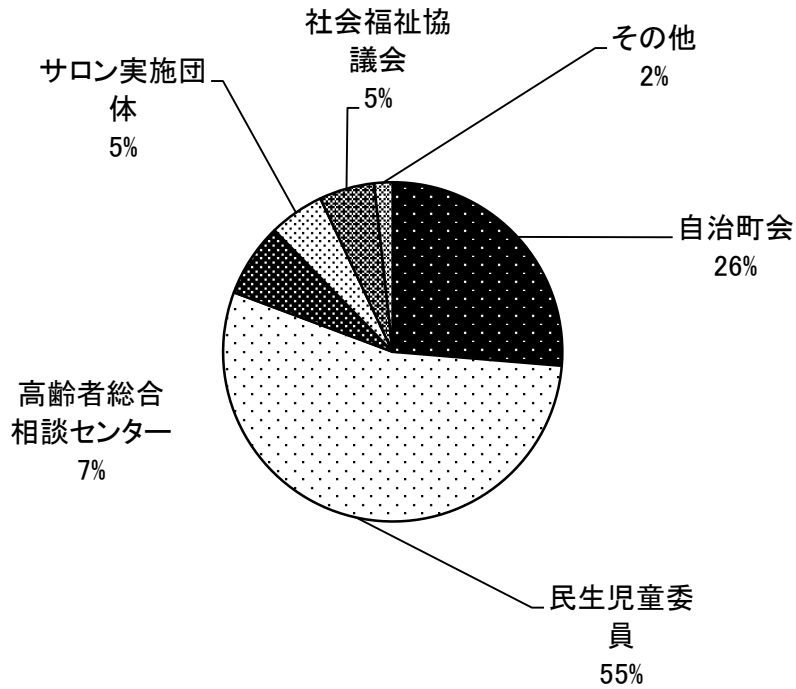
## ◎食事会への注意点は？

→ 事前に衛生面の学習会や調理実習を行った。特に、リスクへの対策として、ボランティア保険や行事保険で対応している。

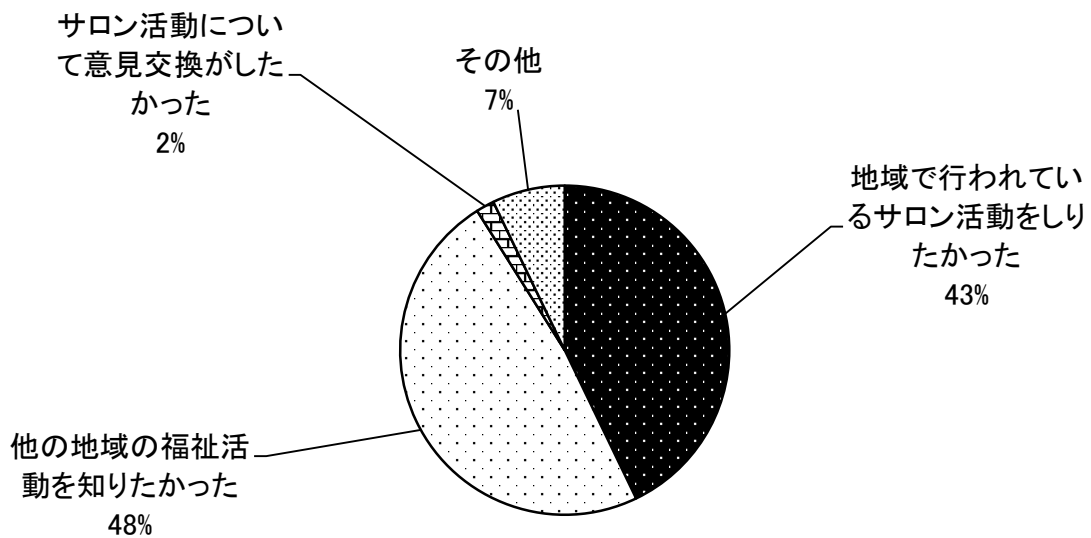
# 地域住民福祉活動情報交換会 参加者アンケート結果

参加者：82名

## ◎ 所 属

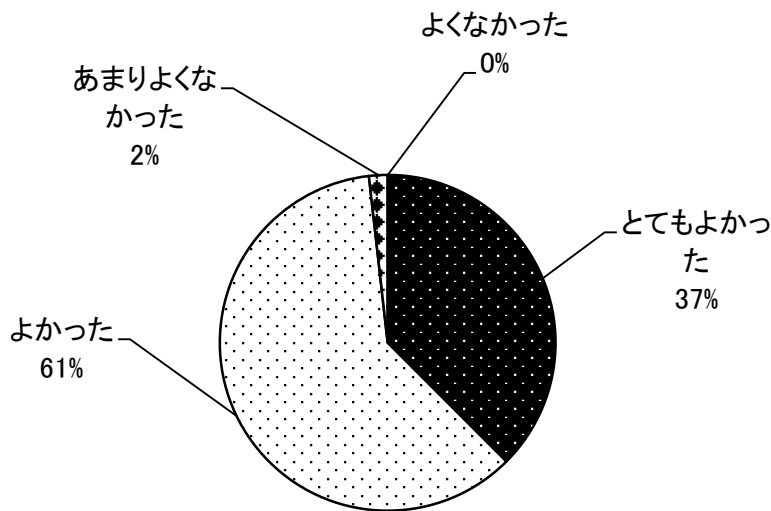


## 1. この情報交換会に参加された理由をお聞かせください？



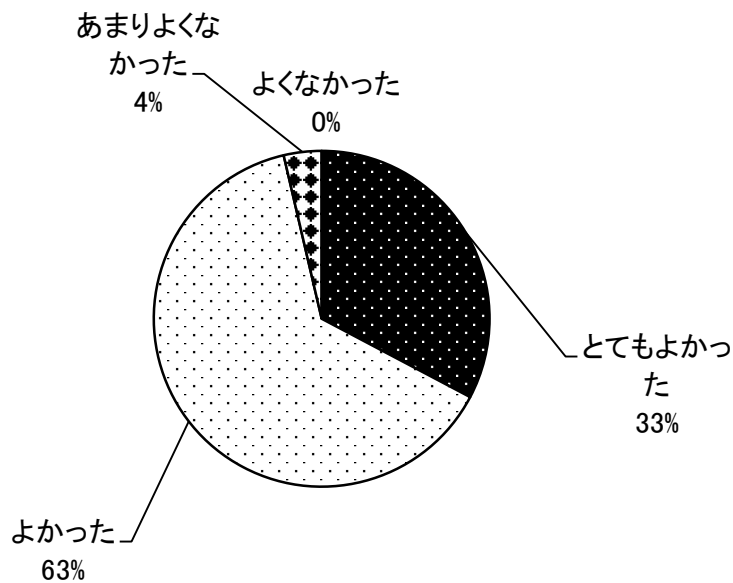
## 2. 『実践報告』については、いかがでしたか？

### (1) 「歌声喫茶のつどい」(四ツ木地区)



- ・ 70名近い人を集めて行くのは大変だと思った。
- ・ 声を出すのは、体にとっても良い事なので、良いと思います。
- ・ 地域に音楽をたしなむ人がいるといいのですが、いても出ないと難しい(運営面)
- ・ 合唱サロンを立ち上げたいと思っています。参考になりました。
- ・ 活動されるメンバーに恵まれており、とてもうらやましい。カラオケを好まない人でも、歌声喫茶は高齢者が過去を思い出され喜ばれると思います。
- ・ 声を出すのが良いと思う。唱歌を歌うと、高齢者の方は特に涙をするというのを聞いたことがあるが、涙ぐむ思い出等、メンタル的にいいと思う。
- ・ とても楽しいそうで、参加しやすいかなと思った。
- ・ 参考にさせて頂きたい、実際に拝見させて頂きたい。
- ・ 発表の中で、親子での参加は、とても良いことですね。
- ・ 年3回では、少ないのでは？ 生演奏は良いと思います。
- ・ 歌は、穏やかな気持ちになれて親睦を図れるので、とても良いと思います。
- ・ 生演奏での歌声喫茶は、とても楽しいと思います。
- ・ 人脈があり楽しい会であることがよくわかりました。
- ・ 伴奏する方がいるのは非常に楽しいそう、歌声を私たちの集いにも取り入れたい。
- ・ 参加者が約70名と聞き、驚きました。素晴らしいと思います。活動している側も楽しそうで良いと思いました。
- ・ 生演奏というのは歌っていても、歌わなくても、聞いているだけでも楽しいので良いなと思いました。
- ・ 年3回というのは、ちょうどいいと思った。
- ・ 参加したことがあります、楽しかったです。
- ・ 色々な生演奏で、歌えることが素晴らしい。
- ・ 介護予防の一環として良いのでは。
- ・ 生演奏はうらやましい。
- ・ 多才な方がいて素晴らしい。
- ・ 認知防止等には、良いのでは。
- ・ 歌は、とても良いと思いました。
- ・ 多数の楽器を使えるのがすばらしい。

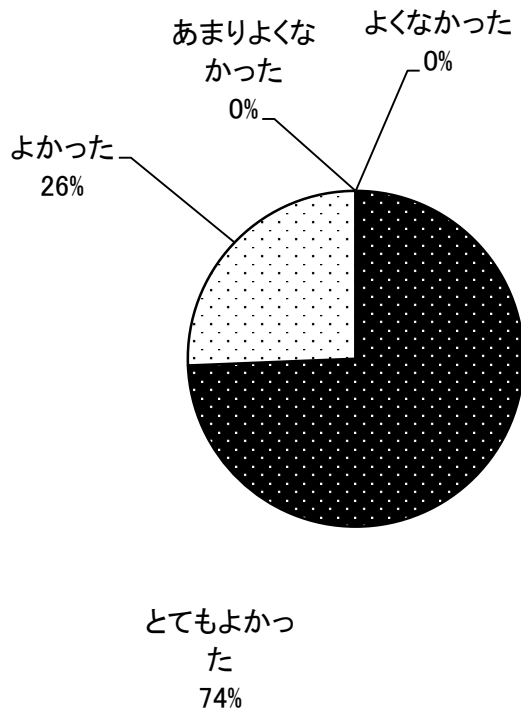
(2) 「健康・お茶会サロン」(東金町地区)



- ・ 15～20名近い人たちでも、がんばって続けている事が、良い思う。
- ・ 色々な活動があり、楽しそうに見受けられました。お手伝いの方は大変だと思います。
- ・ 地域の方の関心が薄いようですが、年間予定も決めていらっしゃるのでもっと皆さんに知れ渡りようがんばってください。
- ・ とても良いことだとは思いますが、結構、回数が多く、やる側としては大変だなと思う。
- ・ 参考にさせて頂きたい、実際に拝見させて頂きたい。
- ・ 参加者が少ないようです。もったいないですね。とても良い活動なので。
- ・ スタッフが少人数で、大変なご苦労を感じました。
- ・ 楽しみながら、筋肉のトレーニングができて良いと思います。会場がもう少し広くて参加者が増えれば、なおいいのですが。
- ・ 小地域の範囲が広い(他の地区も)ので、活動に参加できる人に偏るのではないかと思います。
- ・ 回数が多くスタッフの考えを聞きたい。企画する時間等を考えると協力者に負担が多いのではないかと。
- ・ 健康体操だけではなく、茶話会を入れる事は大変良いと思いました。
- ・ 複数の活動メニューにより、より多くの違う参加者が集まるのは、大変だけれど良いと感じました。
- ・ スポーツダーツというのは楽しそうで、ヨガも含めて参加者が行きたくなるメニューが、素晴らしいと思いました。
- ・ 色々な活動があることは、とても良いと思いました。
- ・ 「健康」をキーワードに開設しているサロンは興味深いです。
- ・ ネタが豊富で素晴らしいと思います。
- ・ 健康推進員の活用は、とても良いですね。
- ・ 多数の番組を取りそろえるのが良い。
- ・ アイディアで楽しみ方を工夫している。
- ・ 体を動かすことに非常に興味があります。

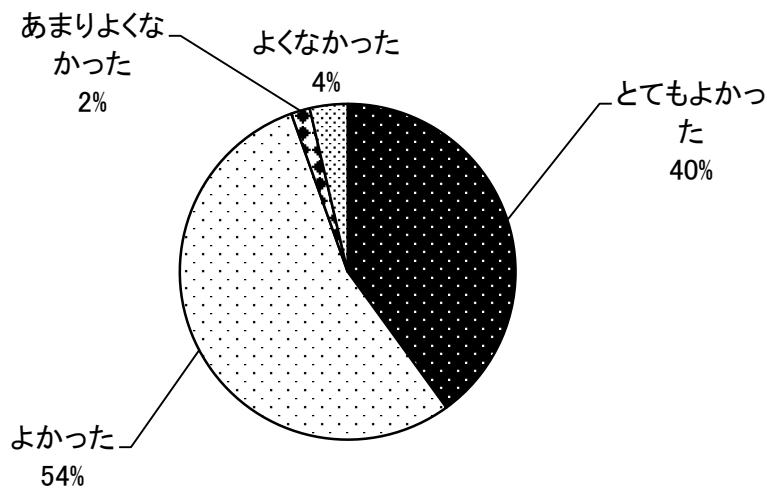


(3) 「堀切ふれあいサロン」(堀切地区)



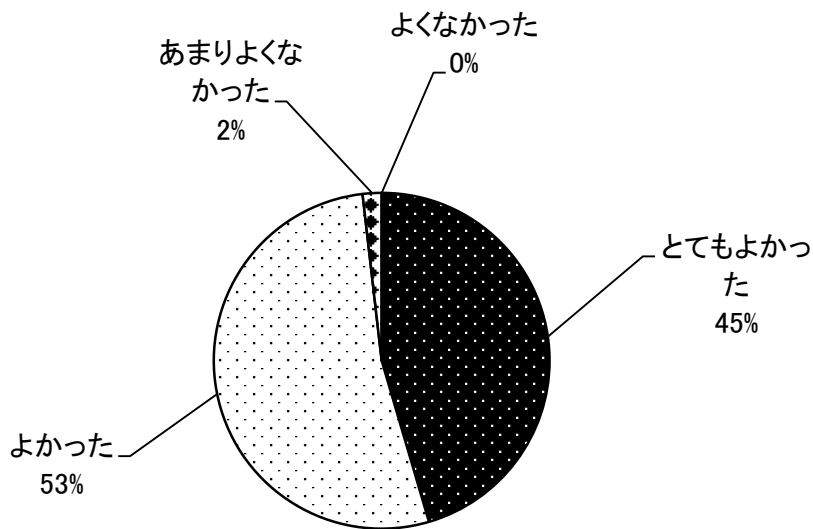
- ・ 利用料100円をいただきながら、サロン活動を続けいくことが良かった。
- ・ 大勢のスタッフを上手にまとめていらっしゃる様子、素晴らしいです。定期的に、いつでもやっているというのは、皆さんの安心につながると思います。
- ・ 月曜日から金曜日は、大変だと思いますが、憩いの場になってとても良いと思いました。
- ・ 毎日イベントがなくても、なんとなくそこへ行こうかなと思う場があることが、大事なんだと気づきました。とても勉強になりました。
- ・ 平日の月～金まで、毎日開催される事は大変な事と思います。ボランティアさんの調整も大変と思います。
- ・ とても楽しそうですが、ずっと続けることが難しいような気がします。
- ・ 民生委員と町会の人との話し合いで、進めるまでが大変と思いました。
- ・ 活動が週5日間は多くて、大変と感じました。登録制だと参加者が限られるので、どうかと思いました。
- ・ 毎日がすごいです。運営者のモチベーションが高いので、上手に分担ができているのだと思いました。
- ・ ここで、新たな友だちができることは素晴らしいです。
- ・ 毎日、スタッフがその場所にいることが、すごいと思いました。
- ・ 折り紙、絵手紙等、手先を使う事が、とても良いと思います。
- ・ 毎日、開いていて居場所になるのはとても良いと思う。
- ・ 毎日、活動されているとのこと、頭が下がります。
- ・ 開催する日が多いこと、それにかかわる方が多いことに驚きました。
- ・ 折り紙教室には、大勢の方の参加が素晴らしい。
- ・ 週5日の開催に驚きと共に、すごいですね。
- ・ スタッフが大勢してうらやましい。
- ・ 毎日というのは、スタッフが大変だと思う。
- ・ 毎日は、役員の方は大変ですね。
- ・ 地域の協力がないと、毎日は難しい。

(4) 「長寿サロン “オアシス”」(奥戸地区)



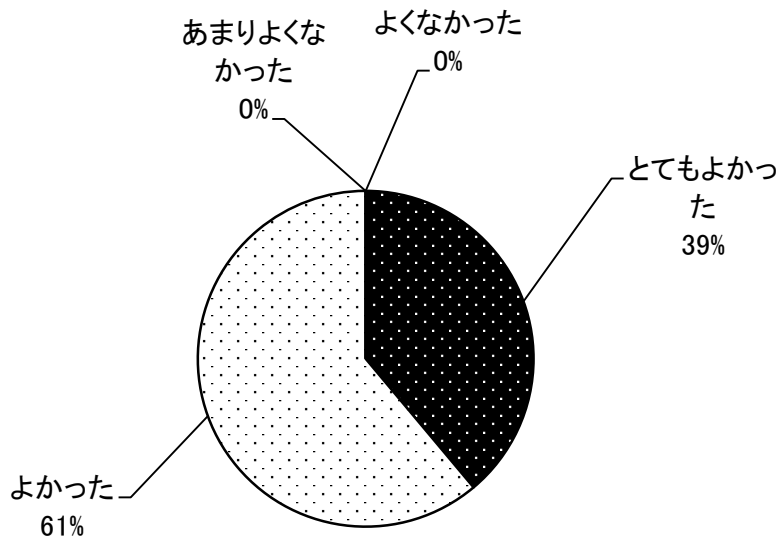
- ・ 運営者一人での開催に驚きです。手作りの教材は参考にしたい。
- ・ 運営者が一人というのは、とても大変だと思います。何とかならないのでしょうか。
- ・ コストがかからず、運営しやすいと思うが、責任者一人だと緊急時の対応が大変。自治会を巻き込んだほうが良いかも。
- ・ 責任者お一人で、色々なアイデアを出され活動しているのにビックリです。
- ・ 吉川さんが一人で運営している事に感動しました。スタッフが少しでも増える事を祈っております。
- ・ 運営者一人というので、とてもびっくりした。回想法や保育園年長組との交流は、とても良いことだと思った。
- ・ 高齢者総合相談センターとの活用が参考になった。
- ・ 一人で毎週運営するのは大変。後継者の育成が必要。
- ・ 各種多彩なゲームにより、脳トレ活用が素晴らしい。
- ・ 運営者が一人というのは、今後、お手伝いしてくれる方がいるといいなと思います。
- ・ 保育園との交流がとても良く、色々なアイデアが素晴らしい。
- ・ 脳トレゲームは色々なアイデアがあり、楽しそうだと思います。
- ・ アイディアがとても素晴らしいもので感心しました。継続できる事にも敬服します。
- ・ 代表者の熱意に敬服です。

(5) 「そら豆の会」(東四つ木地区)



- ・手指体操とか工夫をしている。折り鶴を青戸平和公園に捧げるなど、目的意識があがる。
- ・楽しいお話で、とても勉強になった。
- ・簡単な体操や脳トレは、とても参考になった。
- ・教材が、身の回りにあるもので活用しているのは、素晴らしい。
- ・風間さんが、すごく楽しいそうにお話されているので、本当に楽しい活動なんだなあと思いました。
- ・サロン内容が、とても豊富で楽しそうな感じがした。月1回は、それほど負担にならずにやれそう気がした。
- ・楽しい指体操、ありがとうございました。勉強になりました。うちのサロンでやってみます。
- ・色々と遊び方を工夫して良いと思います。
- ・お話を聞いて、歴史を感じ、継続は力となることを実感しました。
- ・小道具を利用して活動は、参考になった。
- ・すごく、楽しそう。折り鶴は、目的を持って作ることはとても良いと思う。
- ・基本メニューが決まっていて、それに要望があれば追加メニューとしていくのはとても良かった。
- ・楽しさが、よくわかりました。
- ・参加者の意見を取り入れて色々な事に、チャレンジしている事がわかってとても良かったと思います。
- ・スタッフが楽しそうですね。でも、それが一番大事ですよ！ 私も楽しんでいます！
- ・楽しみながら活動している様子が伝わりました。お話を聞いていて、楽しくなれました。
- ・ほのぼのとした感じがとても良かった。輪投げは楽しいですね。私たちのところでも採用します。
- ・主催者側のやりがいをととても感じました。
- ・手指体操、楽しかったです。きっと、楽しいサロンなんだろうと想像ができました。
- ・自主サークルにも関わらず、予算もなく、よく継続できているなあと感心しました。

(6) 「いきいき体操教室」(柴又地区)



- ・寝込まないためにも体操は良いと思うし、無理せずできる体操を皆でやるのは、とても良いと思いました。
- ・体操の指導者の謝礼を確保するために、区の助成金を活用するのはとても素晴らしいです。
- ・簡単な内容で、とっかかりやすいと思う。区の助成金は参考になります。
- ・区の助成金を活用するための苦労話は、参考になりました。
- ・見学をさせてください。
- ・インストラクターの方が素晴らしいです。地域福祉にご理解のある方ですね。
- ・町会との連携が良かったと思います。
- ・一人だと、体を動かすことはつまらないが、皆でやると楽しい。運動が苦手でもヨガとかストレッチならできそうと思う。
- ・私たちの地区にもあれば、私は絶対に参加します。
- ・お忙しいのに良くできるなあと感心しました。
- ・私たちの地域も、昨年からは体操教室を始めました。100名以上が集まり、皆さん健康には関心があるんだと思いました。
- ・リンパ体操、ヨガに参加したいです。区の助成金の条件が厳しいですね。あの条件では、助成金の活用はできません。
- ・サロンの様子を見ると、比較的健康的な方しか参加できないかなあと思いました。
- ・区の助成金を活用するまでの苦労は、この活動を継続的に続けていきたいという想いと受け取りました。
- ・区の助成金が活用できるのは、うらやましいです。私たちの地区は、まだ小地域をやっていないので。
- ・
- ・ほのぼのとした感じがとても良かった。輪投げは楽しいですね。私たちのところでも採用します。
- ・主催者側のやりがいをとても感じました。
- ・手指体操、楽しかったです。きっと、楽しいサロンなんだろうと想像ができました。
- ・自主サークルにも関わらず、予算もなく、よく継続できているなあと感心しました。

3. 今回の情報交換会の内容で共感し、影響を受けたと感じること、自分が学んだと思う3つのことをお書きください。

- ・ 連合町会の協力が必須と感じる。そのために理解していただく機会をつくらなければならない。
- ・ 内容的に無理のないイベントが大事と思う。
- ・ 継続できる力。
- ・ 場づくり、アイデア。
- ・ 地域や周囲との人間関係、絆づくり
- ・ 私たちの地区民児協も、何か活動をしたいと思いました。
- ・ 会食だけではなく、色々なメニューを考えたい。
- ・ 福祉活動推進リーダーの存在が大きい。
- ・ 活動内容に応じた指導者の発掘の多様さが理解できた。
- ・ 高齢者が対象なので、緊急時の事故対応のマニュアルが必要。
- ・ 高齢化していても、元気な方が多く、元気な高齢者に世話役（スタッフ）をお願いしたい。
- ・ 人のためではなく、自分のために今後活動していけたらと思います。
- ・ やってみることが大事。
- ・ 毎日とか週2回とか、自分自身ができるかと思うとわからない、できない方だと思う。
- ・ 自分が80才を超えたら、どんな風を感じるか。
- ・ それほど、大人数というわけでもないが、活動回数が多いことにとってもびっくりした。
- ・ 大きいことやるのではなく、小さな活動をすれば良いと感じた。
- ・ 立ち上げて2年が経ちましたが、色々な進め方があるとわかりました。
- ・ 参加者を増やすには、どう工夫すればよいのか。
- ・ 責任者がやりやすいように協力する。
- ・ 緊急時の対応に心配を感じた。
- ・ 地域、特に町会との協力、連携が重要。
- ・ 地域にある保育園や学校等を活用。
- ・ 続けるという事の難しさ。
- ・ 私たちの地区民児協はこれからです。町連とは話し合いをした事はありません。民生委員と話し合い、町連と話し合いができるよう努力をして参ります。
- ・ 助成金があることは、良い。
- ・ 運営者の元気に支えられている。
- ・ 参加する方々の笑顔、地域の資源の活用。
- ・ ヒトではなく、人間である。
- ・ 絆を感じる。
- ・ 幸せで健康で長生きしたい。
- ・ 事業の継続性について、3つがポイントになると感じた。  
①スタッフ ②事業内容 ③事業の多様性
- ・ 助成金について勉強になりました。
- ・ 開催頻度が高いところ。
- ・ 活動内容を工夫している。

## つづき

- ・高齢者が集まって活動することは、地域が明るくなる。
- ・我々奥戸地区では、1丁目、4丁目、本日発表されたこだま自治会と3ヶ所で高齢者のための活動しております。各地域一活動とせず、奥戸地区のように数カ所の小地域活動をしてほしい。(高齢者が遠くまで出掛けるのは、つらいと思います)
- ・高齢者支援活動の多様性を感じ、なんでもやってみたら良いと思いました。
- ・小地域福祉活動のことが知りたかったので、良くわかった。
- ・助成金やボランティア保険、食事会、特に衛生面について勉強になった。
- ・民生委員と町会の連携をもっと強くしたい。
- ・スタッフが多いと、アイデアも多い。
- ・小規模でも、集団でも、お茶会や食事会を行う時には、専門の方から食中毒防止等の知識を得る事が大切である事を学びました。
- ・主体的に活動している。
- ・楽しそうに生き生きしている。
- ・地域の中で、それぞれの人脈をうまく活用している。
- ・地域外の活動の内容がわかり、参考にすることができました。
- ・災害時の対応の仕方(マニュアル)があれば、参考にしたい。
- ・皆さん、協力的であることがわかりました。
- ・事故対応の実際。
- ・活動内容の種類。
- ・民児協と地域包括支援センターとの関わりの実態。
- ・町会の回覧を利用。
- ・テーマを色々と広げると大変だと思った。
- ・これから始めるにあたり、参考になりました。
- ・町連が主で実施しなくてもいいのでは、地区民児協が主で実施できるのではないか。
- ・老人会を巻き込めば、区の助成金が利用できるのではないか。
- ・実践報告をされた方々が、皆さん前向きでアイデアが素晴らしい。
- ・色々なアイデアを見られることができて良かった。
- ・食事会をする時の注意点。
- ・高齢者の悩み。
- ・区の助成金。
- ・人材の問題。
- ・運営の仕方や内容にそれぞれ特徴がある。
- ・助成金制度にもメリット、デメリットがあり、どう考えるか。どこを優先して継続していくかが大切。
- ・町会と民生委員をつなぐということ。
- ・地域での福祉活動の必要性
- ・区の助成金の活用

#### 4. 本日、または今後の地域住民福祉活動情報交換会について、ご意見や要望等があればお書きください？

- ・各団体の運営方法の違いが参考になった。
- ・自分は、仕事をしながら民生児童委員活動をしており、中心的にはできないですが、地域でやるなら、お手伝い程度ならいいなと思いました。
- ・まだ、小地域福祉活動に取り組んでいない地区なので、大変、本日の情報交換会は有意義で勉強になりました。
- ・町会関連の方や協力していただきたい方の参加を強制した方がいい。
- ・小地域福祉活動のイメージができた。
- ・この情報交換会は、定期的で開催してほしい。地域活動が目に見える会は、ここだけだ。
- ・区の助成金制度を知ることができた。
- ・今後も、このような交換会を開催していただきたい。活動の進化、発展の状況、経過を知りたい。
- ・後半の情報交換会で、グループに別れて意見交換ができたことは、これからの活動に参考になった。
- ・民生委員の仕事も忙しく、働いている方も多くなりましたので、地域全体で、地域の皆さんと地域のことを考え、行動する場が欲しいです。
- ・年1～2回、大きなイベントを行う方法と、週単位でこまめに地域の方々とふれあい方法があると思いますが、高齢者の方々には、家から外出する回数を増やしてあげた方がいいように思いました。一人暮らしの人が、どんどん外に出て欲しいと思います。
- ・各地域、それぞれ工夫された「ふれあいサロン」が成り立ち素晴らしいと思いました。
- ・どのようにして参加者を集めるかが問題になってくると思います。参加者も100円ぐらい負担してもいいと思っています。
- ・今日、皆さんのお話を聞いて色々なやり方があるんだなあと思いました。休憩時間の時に、広告を使って輪投げを作ったり、身近なものを使って、工夫することで色々な活動ができることを知りました。社協で、サロン活動の講座をやってください。
- ・小地域福祉活動のあり方を考えさせられました。
- ・来年、また、この会をやってください。
- ・長く活動を続けていくには、定期的にこのような交流の場、学びの場が必要だと思いました。
- ・色々な情報が聞けて良かったです。

# 参加者からの質問及び回答

## 『歌声喫茶のつどい』（四ツ木地区）

Q 1. 資金的には、不足していると思うのですが、どのような方法で運営しているのですか？

A ⇒ 参加者からの参加費、社協助成金、町会からの助成金で運営しています。

=（市村）=

Q 2. 生の演奏ということ、演奏者はどうやって集めたのですか？

A ⇒ 音楽顧問でギター伴奏者の方の人脈が広く、ベース、ハーモニカ、大正琴、キーボード等の方々に、音楽顧問の方が声かけをしてくれています

=（市村）=

Q 3. どうして、お茶を参加者に持参させないのですか？お茶代の経費が、他の活動に充てられるのではないのでしょうか？

A ⇒ 私たちのサロンは、手ぶらで気軽に参加していただけることをモットーに活動しております。お茶やお菓子を提供することで、10分間の休憩の語り合いを楽しんでいただけるように用意し、お茶とお菓子の経費は、100円の参加費で収まるようにしております。

=（市村）=

## 『健康・お茶会サロン』（東金町地区）

Q 1. どうして、お茶を参加者に持参させないのですか？お茶代の経費が、他の活動に充てられるのではないのでしょうか？

A ⇒ 1年程前から、月2回行っております「健康サロン」では、お茶のペットボトルは出しておりません。ご指摘のように参加者の方に持参いただいております。

年間20万円の予算を、どのような活動を行い、どのように予算に振り分ければ参加者の方々に喜ばれ、「小地域福祉活動」の本来の目標に近づけるか、頭の痛いところ です。

毎月2回行っております「健康サロン」での指導者の方、スタッフの方は全く無償のボランティアです。

=（浅野）=



## 『堀切ふれあいサロン』（堀切地区）

Q 1. 代表の伊藤さんは、月どのくらいサロンの当番をしていますか？

A ⇒ 私の当番としては、月2回から3回ぐらいです。

=（伊藤）=

Q 2. 毎月のスタッフの当番表の作成やお金の取り扱いなど、負担になりませんか？

A ⇒ 当番表については、自分の都合のよい日に当番をしてもらっていますが、どうしても埋まらない時は、皆さんに協力してもらっています。

お金の取り扱いについては、会計さんをお願いしています。

=（伊藤）=

Q 3. 週5日実施して、スタッフの方は足りていますか？また、保健センターの職員には、どのように協力をお願いしているのか？

A ⇒ 現在、29名のスタッフで組織されています。翌月の当番表は、毎月25日頃には完成されていますので、極端にスタッフが足りないということは、おかげさまで今のところありません。

保健センターについては、役員がご挨拶に伺い協力をお願いしました。その後、1年間の活動計画を立ていただいて、季節に合わせた内容でやっていただいております。

=（伊藤）=

## 『長寿サロン「オアシス」』（奥戸地区）

Q 1. 吉川さんの都合が悪い時は、サロンはどうするんですか？

A ⇒ 私としては、長寿サロン開催日を最重点で考え、都合を計画しています。やむを得ず重複した時は、協力者の高齢者総合相談センター奥戸や自治会役員に協力を求め、前日までに、実施内容をレクチャーし、資料を説明し、実施していただく。

過去5年間で1回だけ、お願いしたことがあります。

=（吉川）=

Q 2. 吉川さん一人で、サロンを運営しているそうですが、なぜ、民生委員さんとの連携をしないのですか？

A ⇒ 運営に携わるのは、自治会として1人ですが、高齢者総合相談センター奥戸（当初より）、保健センター、シニア活動支援センターの方々と協力して運営しています。現在は、理解ある民生委員に協力を得て行いつつあります。

＝（吉川）＝

## 『そら豆の会』（東四つ木地区）

Q 1. アイディアは、どこから仕入れているのですか？

A ⇒ 当初は、自分のやってみたいことをやっていました。例えば、折り紙、お手玉、おはじきなどの昔の遊びを。ネタは、市販されている本や雑誌、テレビ又はレクリエーションの講習会に参加したりして仕入れています。

いつでも、どこでも、“あっ”これは使えるかなというアンテナを張っていて、いいがあれば“いただきます！”の精神で使わせてもっています。

＝（風間）＝

Q 2. サロン活動を継続する秘訣を教えてください。

A ⇒ 秘訣1：スタッフの仲間意識がしっかりしていて、連携が取れていることが一番だと思います。

秘訣2：プログラムの活動内容は、毎月変化を持たせるようにしています。そして、1月は新年会、6月は周年行事として、ちょっとしたイベント感覚で取り組んでいます。

マンネリ化にならないように注意しているのですが、しかし、最近は少しならず感じています。いろいろなやり方を試したりしています。

＝（風間）＝

## 『柴又いきいき体操教室』（柴又地区）

Q 1. 鈴木さんは、リンパ体操やヨガを、なぜ、サロン活動の中でやろうと思ったのですか？ 他のサロンでは、あまりやっていない内容なので。

A ⇒ 私たち柴又地区では、平成23年11月に社会福祉協議会の指導の下に柴又地区小地域福祉活動（以下、柴又ふれあいネット）を立ち上げました。子どもから大人までがつながる活動として、「健康づくり」、「仲間づくり」、「学びの場づくり」、「ふれあいの場づくり」をテーマとして活動に取り組みました。

そこで、私は以前から通っていたリンパ体操を、柴又ふれあいネットでやってみてはどうかと提案しました。お年寄りでも無理なく楽しくでき健康維持、仲間づくりに大変有効だと思ったからです。

1年目、2年目と2回行いましたが、大変好評で地元の高齢者クラブから続けてやってほしいという依頼を受けました。そこがスタート地点です。講師料が払えないので、インストラクターから指導を受けているメンバー6名が簡単な内容を選んで行っていくこととし、現在に至っています。

＝（鈴木）＝

Q 2. インストラクターへの謝礼は、どこからねん出しているんですか？。

A ⇒ もちろん私たちリンパ体操スタッフは、ボランティアです。また、ヨガの先生も1年以上、講師料も交通費もなく、全くのボランティアでした。

何とか講師料を支払えないかと思っていた矢先、「サロン活動」に対する区の助成金制度ができたことを知りました。

申請にあたって、条件を満たしてない部分が多く無理だと言われましたが、周りの方々のご指導をいただき、区内第1号の助成金を受けるおことができました。お陰様で、昨年10月から助成金をいただき講師料を支払えるようになりました。講師の方もより充実し、参加者の悩みにも逐一答えながら、大変楽しい雰囲気で行っています。

会場は、いつも笑いが絶えません。

区の「サロン助成金制度」は、申請条件のハードルが高いと感じています。活動の状況に合わせたきめ細かな対応をしていただけたら、もっと活用されると思います。

＝（鈴木）＝